

PRSJ 新中期計画について

複雑化・多様化する社会の中で、
パブリックリレーションズはどこへ向かい、何をすべきか。

2020年のPRSJ宣言で、
私たちはパブリックリレーションズがこれからの社会で果たすべき役割と
その可能性について社会に発信しました。

**私たちは倫理観と信頼感に基づいた創造的な対話づくりの力で、
人々の中の共感を生み出し、世界を変えるソーシャルイノベーションに
寄与していく。**

2021年、私たちはこの宣言のもと、新たな一步を踏み出す時を迎えています。
それは、社会が受け止めているパブリックリレーションズへの認識を変えていくと同時に、
私たち自身も次のステージに進化していくことであると考えます。

そのために、今、始めなくてはならないこと。
PRSJ中期計画はその目指すべき具体的な方向性と
アクションプランをまとめたものです。

PRSJ中期計画 / 環境認識・課題認識

企業やさまざまな組織が高度化する社会課題の解決と向き合っていくとき、
ステークホルダー間の「対話」はますます重要となっていきます。
パブリックリレーションズの役割は今後さらに高まっていくことは確かです。

しかし現状は、そこに携わる「PRパーソン」人材の位置付けは
企業や組織環境において一様ではありません。
パブリシティなどの狭義のPRや広告活動と混同されていることもあります。
こうした社会の認識を改め、PRパーソンが有しているコミュニケーションの
プロフェッショナルとしての価値を認識してもらうための環境づくりが必要です。

同時に私たち自身も変わっていかなくてはなりません。
これまでのPRパーソンとしての専門性に加えて、複雑化する社会の中で必要とされる
新しい能力を持つことが求められます。

そのためのキャリアパス、ロールモデルの確立を行うことで、パブリックリレーションズに関わる人材が同じ目標を共有できる育成機会を創っていかなくてはなりません。

PRSJ 新中期計画 / 基本方針

PRSJ は 2025 年に向けた新中期計画の基本方針を以下のように掲げます。

「PR パーソン」から

「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」へ

「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」、それは企業、PR 業、および団体のパブリックリレーションズに関わる人が目指すべきこれからの人材像です。

コミュニケーションのプロフェッショナルであるだけでなく、経営者を始めとする社会のリーダーたちと対話する力を持っている人材です。企業や社会が直面している課題の本質を見出し、その解決のために必要な新しいイノベーションの視点を提示することができます。

つまり、これまでの「PR パーソン」に求められていた能力に加えて、

- **Narrative Approach**

創造的・発展的・共感的にコミュニケーションストーリーを構築する力。

- **Key Opinion Former**

傾聴・ファシリテートしながら共感的に世論形成を行う力。

- **Social Dynamics**

組織や社会の動態を考察し、動かしていく力。

の 3 つの能力を兼ね備えている人材と言えます。

企業においてパブリックリレーションズはますます経営の重要機能になっていくことでしょう。

経営やマーケティングの豊富な知見と経験を有し、CEO に信頼されるスタッフとして経営に資する広報を組み立て、経営の意思決定に関わっていく役割を持つ

高度なパブリックリレーションズ・プロフェッショナルも登場してくるはずです。

そして、こうした人材が、キャリアと幅広い領域の知見をさらに積むことで、組織を超えて社会に影響力を持つ「高度パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」として活躍することが期待されます。

「高度パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」は歴史、文化など幅広いリベラルアーツの素養を持ち、自らが社会から認知された存在として、世の中のさまざまな出来事に対して発言する力を持っています。

私たちはこうしたシンボリックな人材を輩出していくことで、パブリックリレーションズに対する社会の理解と期待を高めていきたいと考えます。

PRSJ 新中期計画 / 事業概要

私たちはその実現のために、企業側・PR業側双方からの統合的な取り組みを行い、パブリックリレーションズ・プロフェッショナル人材育成のための環境整備とステークホルダーへの浸透・理解を進めていきます。

2021年度は各委員会活動の役割を棚卸し、より横断的に活動できるようにしていきます。企業・PR業・関西各部会での新規活動も積極的に増やしていくことで、会員相互の交流活動を活性化します。また個人会員に向けては、セミナー・イベント活動などの場を増やし、個人会員にふさわしい学びや交流の場を用意していきます。

そして重要なのが人材の育成です。

新たに有識者を交えた人材育成を行うためのカリキュラムとロールモデルの開発を行うことで、真に社会が求める人材像を明確にして、その育成を推進していきます。

「PRパーソン」から

「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」へ

パブリックリレーションズが向き合わなくてはならない社会や企業の課題は、今後さらに高度化していきます。さらにDXへの取り組みなどによって、

そのコミュニケーションのあり方は大きく変わっていくことでしょう。

PRSJはこうした環境変化の中で、パブリックリレーションズ自体の価値を
進化させながら、新しい人材像を提示し、社会における確かな存在価値を創っていきます。

そのためにはすべての会員の皆さまの協力が大きな力になります。

会員会社の皆さまをはじめ、パブリックリレーションズに関わるすべての皆さまの
ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。